

重点的に取り組む3つの政策

1 子どもの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)

子どもは町の宝です。子どもの声が聞こえるまちづくりを目指します。

これまで出産祝金や子育て応援金、保育料完全無償化、中学生までの医療費の無償化などに取り組んでいますが、これらの充実した制度が十分に伝わっていないのも事実です。さらなるPRと、踏み込んだ対策が必要と考え、要望の多い小さいお子さんが遊べる公園の整備などを行い、「子育てするなら飯南町」という町にしていきます。

また、本町の教育機関の頂点でもある「飯南高校」の存続、魅力ある高校として何としても守っていきます。



2 地域医療福祉の充実

町民の安心安全な暮らしの確保や、福祉施設の運営に欠かせないのが飯南病院の存在です。院長のリーダーシップのもと、町民から信頼されている飯南病院を核として、地域医療・福祉の充実・地域包括医療ケアを推進します。

また、医療や介護福祉施設の人材確保に取り組み、今後必要となるサービスの種類・量などを勘案した施設計画を樹立します。



3 産業振興(農林業・商工業)

基幹産業の農業では、なりわいとなる農業を目指し、水稲から水田園芸への転換、飯南米のブランド化、農作業の省力化・労働力を集積する組織の育成を進めます。

商工業では、事業承継や後継者育成が課題となっており、「特定地域づくり事業共同組合」制度(町独自の人材派遣会社)も活用しながら、人材の確保・育成に努めます。

また、Uターンする若者が就きたい職業の創出、そのための企業誘致も視野に入れて進めます。



就任のあいさつ

飯南町長 塚原隆昭

この度の町長選挙におきまして、町民の皆さまをはじめ、各方面の方々からのご支援と温かいご厚情を賜り、初当選の榮に浴する事ができました。町長としての重責を痛感しております。

飯南町になって16年が経過し、初めての町政・町長の交代になります。それゆえに期待の大きさを感じているところであり、「新しい時代を切り拓く」という想いをもって課題解決に挑戦していきます。

「生命地域宣言」を基本理念としたまちづくりを引き継ぎ、第2次総合振興計画後期計画・総合戦略を着実に進めていきますが、その上で「守らなければならないもの」「伸ばしていくもの」「新しく取り組むもの」「見直し縮小廃止するもの」を整理します。

今、飯南町の人口は4千7百人余です。新しい時代に向けてまちづくりを進める上で必要なのは「人」です。そのため、人口減少に真っ向から立ち向かい、町民の皆さまが飯南町で暮らすことを幸せに思えるよう、そして将来に夢と希望がもてる「笑顔あふれるまち飯南町」の実現に向けて、職員一丸となって取り組んでいきます。

町民の皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

